

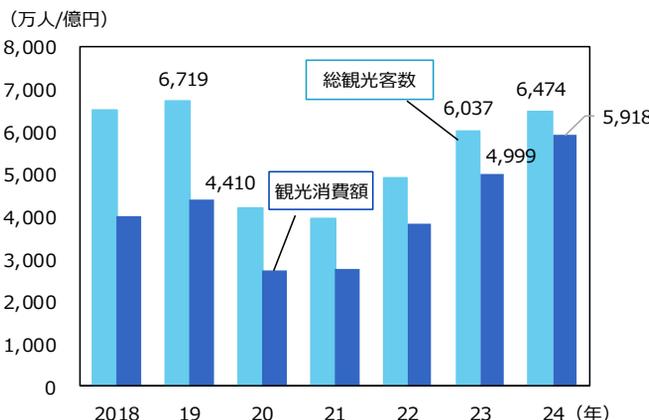
## 広島県の観光の現在地 ～2030年“観光消費額8,000億円”に向けて～

### 目標達成には年率5.2%の伸びが必要

一般社団法人広島県観光連盟（HIT）によれば、2024年の広島県内の総観光客数は6,474万人（前年比+7.2%）、観光消費額（同+18.4%）と、堅調に推移しています（図表1）。

広島県は「観光立県推進基本計画」において「2030年の総観光客数1億人、観光消費額8,000億円」の目標を設定していますが、2024年の進捗率は総観光客数が64.7%、観光消費額が74.0%で、30年目標の達成には各々+7.5%、+5.2%の伸びを毎年続けていく必要があります（図表2）。

図表1 広島県の総観光客数と観光消費額の推移



（資料）図表1～3の何れも一般社団法人広島県観光連盟（HIT）「広島県観光客数の動向」よりひろぎんHD経済産業調査部作成

図表2 広島県の観光目標と進捗状況

指標	2030年 目標値	2024年 実績値	目標比	前年比	目標達成に 必要な年率
総観光客数	1億人	6,474万人	64.7%	7.2%	7.5%
観光消費額	8,000億円	5,918億円	74.0%	18.4%	5.2%
観光消費 単価	8,000円	9,141円	114.3%	10.4%	-

（注）観光消費額 = 総観光客数 × 観光消費単価（一人当たり消費額）

### 滞在日数増やす取り組みを一段と強化

観光消費額の増加には観光消費単価（一人当たりの消費額）の上昇が大きく寄与しており、2024年は9,141円（前年比+10.4%）と2桁の伸びを示しています。

宿泊料をはじめモノやサービス価格上昇の影響は勿論ですが、宿泊客数の増加に伴い飲食費等を含めて単価が上昇していることも一因に挙げられます（図表3）。

しかし、観光庁「宿泊旅行統計」によれば、直近2025年1～6月の広島県内の宿泊者数は544万人（前年同期比▲2.6%）と、インバウンド（同+14.4%）の増加が続く一方、国内客（同▲5.9%）の減少からマイナスに転じています。

広島県の観光消費額はコロナ禍前の2019年を上回って順調に増加していますが、30年目標の達成に向けてこの基調を維持するためには、滞在日数を増やす取り組みを一段と強化していく必要があります。

図表3 広島県の宿泊客数と観光消費単価の推移



- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされまよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：稲田（TEL082-247-4958）までお願いします。